

# 議 会 だ よ り

## かみふらの



No. 78  
2013.4.25発行

身近な議会を目指して…

### contents

- 第1回定例会 新年度予算を原案可決ほか……P 2  
「福祉灯油の実施」など6名の議員が町政を問う……P 9  
「みんなのページ」今回は『日本ハムファイターズかみふらの後援会』を取材……P 17



『おともだちいっぱいできるかな?』

上富良野小学校 入学式

# 新年度予算が決まりました!!

**第1回定例会** 第1回定例会が3月5日から22日までの会期で4日間開催しました。新年度予算の議案など46件を審議し、可決しました。

**総額 105億4053万円**で可決

一般会計 63億4600万円

特別会計 30億5367万円

企業会計 11億4086万円

平成25～26年度の2年間で、上富良野小学校の講堂を除く全校舎の建て替えを行います。平成25年度は、解体・仮設校舎工事、本体工事、太陽光発電設備工事、防音対策工事等を行います。7億9千469万2千円の予算となりました。

## ○上富良野小学校改築工事



町内で新規開業や新事業展開を行う事業主に対して新規事業に係る経費の一部を補助します。内容は、①事業費補助金、②雇用奨励金、③家賃支援事業補助金の3本柱で、260万円の予算となりました。

## ○新規開業等支援事業



## 主な事業

### 平成25年度 各会計別予算額（千円以下切捨）※端数整理のため額は整合しない

| 会 計 名   |               | 25年度予算額    | 24年度予算額    | 前年度対比    |       |
|---------|---------------|------------|------------|----------|-------|
| 一 般 会 計 |               | 63億4600万円  | 61億1000万円  | 2億3600万円 | 3.9%  |
| 特別会計    | 国 民 健 康 保 険   | 13億6202万円  | 13億7783万円  | ▲1580万円  | ▲1.1% |
|         | 後 期 高 齢 者 医 療 | 1億1637万円   | 1億1536万円   | 101万円    | 0.9%  |
|         | 公 共 下 水 道 事 業 | 4億782万円    | 4億1163万円   | ▲381万円   | ▲0.9% |
|         | 簡 易 水 道 事 業   | 6334万円     | 6218万円     | 116万円    | 1.9%  |
|         | 介 護 保 険       | 8億670万円    | 7億7743万円   | 2926万円   | 3.8%  |
|         | ラベンダーハイツ事業    | 2億9739万円   | 2億8843万円   | 896万円    | 3.1%  |
| 企業会計    | 水 道 事 業       | 2億5452万円   | 2億6540万円   | 1088万円   | 0.4%  |
|         | 病 院 事 業       | 8億8634万円   | 9億4625万円   | ▲5991万円  | ▲6.3% |
| 合 計     |               | 105億4053万円 | 103億5455万円 | 1億8598万円 | 1.8%  |

## 一般会計

一般会計の総額は、平成24年度当初予算と比べ2億3千600万円、率にして3.9%増の63億4千600万円となりました。

これは、本年度から建築工事を予定している上富良野小学校改築、泉町南団地町営住宅の整備をはじめ、損耗の激しい公共施設等の改修に要する経費が計上されたことが主な要因となっています。

## 特別会計

■国民健康保険は、前年度対比1.1%、1千580万6千円が減額となり、町内経済の厳しい状況を見据えたものとなっています。

■後期高齢者医療は、2年ごとの保険証一斉更新に要する費用などにより増額となりました。

■公共下水道では、浄化センター改築設計業務の完了などにより減額となりました。

■簡易水道では西部地区簡易水道配水管布設工事を実施するため増額となっています。

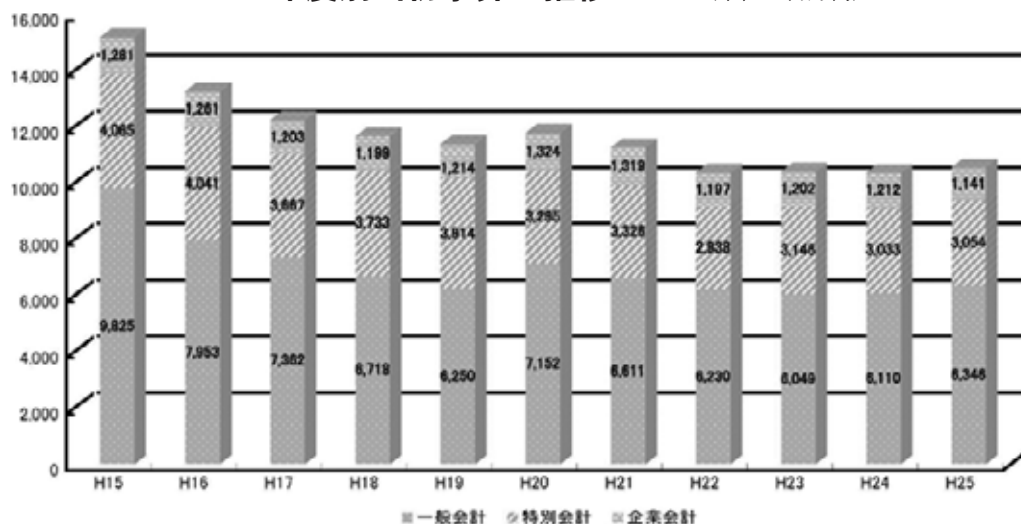
## 企業会計

■病院事業はCTの更新、画像保存通信システム整備の事業が完了したため、減額となりました。

■水道事業は料金収入や検漏工事数量の減少により、減額となっています。

～年度別当初予算の推移～

(単位：百万円)



### 第1回臨時会（1月29日開催）

#### ○上富良野小学校スクールバンド

全道大会参加経費を増額補正

北海道アンサンブルコンクール旭川地区予選で上小スクールバンドの打楽器四重奏が金賞を受賞しました。帯広市で開催される全道大会へ出場するための経費13万3千円を増額する補正予算を可決しました。

#### ◆質疑から◆

問 参加経費の内訳は。

答 鉄道運賃・宿泊費・楽器運搬費・引率の日当など。

#### ○給食センターの調理機器を財産取得

学校給食センターの調理機器、フードスライサーと食缶洗浄機購入の入札が終了したため、2台で1千365万円の購入を可決しました。

#### ◆質疑から◆

問 それぞれの機器の価格は。

答 食缶洗浄機は1千万円、フードスライサーは300万円で購入。

### 第2回臨時会（4月8日開催）

#### ○農業用機械導入事業に伴う

補助金を増額補正

経営体育成支援事業で農業用機械・施設11台の導入補助として、歳入歳出それぞれ1千556万4千円を増額する補正予算を可決しました。

#### ○上富良野小学校仮設校舎建設工事・

校舎解体工事請負契約締結

上富良野小学校の改築工事の入札が一般競争入札により行われ、高組・アラタ工業共同企業が9千618万円で落札したため、契約の締結を可決しました。

#### ◆質疑から◆

問 地元業者が応札できるよう、分割して入札はできなかったのか。

答 経費面、時間的制約のほか、作業場所が限られ、複数の業者が入ることが適切ではなかったため、一括での発注となった。

## 平成24年度各会計

## 補正予算を可決

一般会計と特別会計の6会計、企業会計の補正予算を可決しました。

一般会計の主な補正内容は、上富良野小学校改築による増額、地上デジタル放送辺境共聴施設整備事業の財源組み替えによる地方債の廃止、厳冬及び燃料費高騰に伴う公共施設用燃料費の増のほか、各事業費確定見込みによる執行残などによる減額などによるものです。

また、各特別会計及び病院会計の主な補正内容は、事業費確定の精査などによるものです。

## ■3月補正予算の状況■

| 会計名            | 補正額       | 総予算額        |
|----------------|-----------|-------------|
| 一般会計           | 6億5577万円  | 70億9876万4千円 |
| 国民健康保険特別会計     | ▲1892万1千円 | 14億1215万9千円 |
| 後期高齢者医療特別会計    | 477万3千円   | 1億1983万6千円  |
| 介護保険特別会計       | 1700万8千円  | 8億1882万円    |
| ラベンダーハイツ事業特別会計 | 60万8千円    | 3億1万6千円     |
| 公共下水道事業特別会計    | ▲249万7千円  | 4億1388万4千円  |
| 簡易水道事業特別会計     | ▲210万4千円  | 6041万7千円    |
| 病院事業会計         | ▲199万円    | 9億4456万6千円  |

## 上富良野小学校の

## 改築事業費を増額

国の補正により、上富良野小学校改築工事の事業費6億7千581万1千円を増額しました。

また、この事業費を25年度にも使用できるように繰り越しを行いました。

## 町道の除排雪委託料を増額

この冬の大雪により、出動回数が多かったため、除排雪の委託料1千600万円を増額しました。



## 「質疑」から

## 問

「やっと路地等が排雪された。」「早急に路地等の排雪を行って欲しい。」という声も多く寄せられている。路地の排雪等は、いつ終了するのか。

## 答

住民の多くから道路の排雪作業について日頃から電話や要望等をいただいている。進捗状況は、幹線を含めた主要道路は、1回目の排雪を全て完了している。現在、2間道路の狭い道路は大型車両が入って作業ができない。このため、いろいろな工夫をして排雪可能な部分を順次、進行している。おそらく3月中旬までかかると思う。

## 意見書を国などに

## 提出しました

## 地方財政対策に関する意見書

行政需要に基づき財源保障を行うことが基本であり、中立的かつ客観的な地方財政計画、地方交付税の算定に改め、地方公務員の給与決定は自治体が自主的に条例で決定することが原則であり、国が臨時特例法で定める給与削減を、自治体に強要しないことを求める意見書です。

## 公務公共サービスを担う非正規

## 雇用労働者の雇用安定と均等

## 待遇の実現を求める意見書

無期雇用原則を明文化し、有期労働契約を締結できる事由の規制（入口規制）、均等待遇原則の確立を柱とする有期労働契約規制を行うことや、公務公共サービスを担う非正規雇用労働者の労働条件を改善し、官製ワーキングプアをなくすために、均等待遇に基づく賃金労働条件が確保されるよう関係法制の整備を図ることを求める意見書です。

## TPP交渉参加

## 断固阻止に関する意見書

TPPは一次産業のみならず、医療、公共事業、金融、食の安全、雇用など様々な分野に影響が及ぶ、国益を損なう極めて重大な問題であり、到底国民の合意を得られる問題ではないことから、政府は事前協議を含めた一切のTPP交渉参加に向けた取組みを断念することを求める意見書です。

## 「かみん」他12施設の

### 燃料費を増額

この厳冬と燃料の高騰により、保健福祉総合センター「かみん」他12施設の燃料費665万9千円を増額しました。

#### 質「疑」から

**問** 燃料の単価はいくらか。燃料高騰にかかわった福祉灯油が各自治体で実施されている。町はなぜ実施しないのか。

**答** 当初予算に比べ約10円/ℓオーバーしている。福祉灯油は過去に平成19年度と平成20年度に福祉灯油を実施した。

しかし、交付する時期になってから、値段が下がった経過もあり、恒久的な対策を取るべきと判断したため、今回は計上していない。

**問** 上富良野中学校の予算額が突出している。この理由は。23年度の上小と上中の燃料の使用量はどのくらいだったのか。

**答** 上中には大きなボイラーが3機設置されている。燃料消費が大きいことと、冬休み期間中に部活動の練習に励んだことなどにより増加した。当初の予算見積りが7万ℓで見えており、当初予算の部分では足りなかった。23年度の実績は上富良野中学校は8万4千ℓ、上富良野小学校は6万ℓの燃料消費となっている。

**問** 大型ボイラーが3機あり、部活動があるというのは例年のことだと思ふ。24年度の予算の見積りが甘かったのでは。

**答** 当初と実績の比較では確かに甘かったと思う。現場は節約を心がけて予算見積もりをした。しかし、この寒さや部活動を盛んに行ったため、燃料消費が多かったと報告を受けている。

## 人事案件

人権擁護委員候補者に瀧本良幸さんを推薦する議案が提出され、全員賛成で適任と答申しました。

固定資産評価審査委員に四釜富士夫さん・船引武道さん・谷本博昭さんを選任する議案が提出され、全員賛成で同意しました。



瀧本良幸さん（62歳）

昭和25年生  
中町3丁目



佐藤大輔さん（39歳）

昭和49年生  
東町1丁目

教育委員会委員の退任に伴い、新しく佐藤大輔さんを任命する議案が提出され、全員賛成で同意しました。



四釜富士夫さん（67歳）

昭和20年生  
栄町2丁目



船引武道さん（61歳）

昭和26年生  
西2線北30号



谷本博昭さん（64歳）  
（新任）

昭和23年生  
東9線北16号

## 一般廃棄物処理施設技術管理者の

### 資格を定める条例を制定

この条例は廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定に基づき、上富良野町が設置する一般廃棄物処理施設に置く技術管理者の資格に関し、必要な事項を定める条例です。平成25年4月1日から施行されます。

## 上富良野町営住宅等の

### 整備基準に関する条例を制定

この条例は公営住宅法の規定に基づき町営住宅及び共同施設の整備に関する基準を定めた条例です。平成25年4月1日から施行されます。

## 指定地域密着型サービス事業者等の

### 指定に関する基準を定める条例を制定

この条例は介護保険法に基づき、指定地域密着型サービス事業者等の指定・入所定員・法人・町外事業者の指定等に関する条例を定めるものです。平成25年4月1日から施行されます。

## 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備

### 及び運営に関する基準を定める条例を制定

この条例は指定地域密着型サービスの事業に係る介護保険法の規定により、上富良野町における指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定めた条例です。平成25年4月1日から施行されます。

## 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、

### 設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防

### サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例を制定

この条例は指定地域密着型介護予防サービスの事業に係る介護保険法の規定により、上富良野町における指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定めた条例です。平成25年4月1日から施行されます。

## 障がい者自立支援事業条例の一部を改正

この条例は法律の名称変更のために法律名を改めるものです。平成25年4月1日から施行されます。

## 新型インフルエンザ等対策本部条例を制定

この条例は新型インフルエンザ等対策特別措置法第37条において準用する法の規定に基づき、上富良野町新型インフルエンザ等対策本部に関して必要な事項を定めた条例です。平成25年4月13日から施行されます。

## 観光開発審議会条例の一部を改正

この条例は上富良野町観光協会の名称を「社団法人かみふらの十勝岳観光協会会員」から「一般社団法人かみふらの十勝岳観光協会」に改める条例の改正です。平成25年3月26日から施行されます。

## 上富良野町都市公園条例の一部を改正

この条例は都市公園法及び高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づいて、公園の設置及び管理について必要な事項を定めた条例です。平成25年4月1日から施行されます。

# 予算特別委員会

## 25年度予算を

## 徹底審査！

### ― 歳入 ―

#### 国有提供施設等所在市町村助成交付金

##### Question

数年前より落ち込んでいる要因は。今後、増額する予定は。

##### Answer

5年間は同一単価で積算されていたものが単年度で試算されるようになり、22年度以降大きく減額となった。全国で土地が下落している現状で増額は考えられない。

##### Question

使用していない宿舎の現状はどのように駐屯地へ報告しているのか。また、どのような回答が来ているのか。



##### Answer

駐屯地に対して具体的な報告などは行っていない。対話の中で現状について話をしている。防衛省の限られた予算の中で何年も掛けて入居していた方を集めた経過があり、駐屯地だけの対応は大変困難だと考えている。

### ― 歳出 ―

#### 自治基本条例

##### Question

この条例が策定された後の評価は。

##### Answer

情報共有から始まり協働のまちづくりをキーワードに制定された。町民からのアンケート調査により、評価につなげた。

##### Question

具体的な内容は。

##### Answer

北海道工業大学と地域連携協定を結んでおり、その連携協定の中で受託研究をお願いする。

#### 観光振興計画 ワーキング推進事業

##### Question

実践のための具体的な方法は。

##### Answer

6・9月に町民・観光事業者・観光協会・町などで上富良野の観光名所を学ぶツアー・おもてなしの研修など、できることから取り組んでいく。



#### ブランド魅力発信事業

##### Question

緊急雇用と言いながらも町内事業者への委託がない。今後、委託拡大はあるのか。

##### Answer

町内に対象となる事業者がいなかった。採択要件の緩和など北海道に照会していく。

#### 防災

##### Question

地域防災計画の策定が遅れた理由は。また、民間に委託することに変更した理由は。

##### Answer

東日本大震災以降、大規模な震災に備えるため、災害対策基本法が改正され、各自治体で策定することになった。しかし、時期的に間に合わず、専門的な知識を取り入れ、町にあった防災計画となるように委託となった。

##### Question

消防OBの人数を掌握して防災士を50名としたのか。また、どのような活動をしているのか。

##### Answer

消防OBを意識した50名ではなく、ぜひ一般の方に防災士を取得していただきたい。いきなり地域での活動は難しいので、研修会や防災訓練の見学などを行った。

#### 人材アカデミー

##### Question

これからの中核的なリーダーを育てる趣旨であるが、どのような内容か。

##### Answer

それぞれの産業、農業者に限らず商業者も後継者の不足が大きな課題であり、スキルアップと仲間づくり、情報交換を図っていく。

#### 特定健診事業

##### Question

若年層などへの対応は。

##### Answer

引き続き勧奨を進め、若年層や国保以外の方にも健診や保健指導を受けよう努力していく。

#### 町営住宅建設

##### Question

建て替えに合わせた集会所施設の建設は。

##### Answer

基本設計で検討中。

## 新年度予算に意見を付す！

### 【一般会計】

#### 〇歳入

##### 国が提供施設等

##### 所在市町村助成交付金

年々減額されているので、増額要望されたい。

##### 農産物加工実習施設

利用者増の取り組みを強化し、使用料の増収に努められたい。

#### 〇歳出

##### 交 際 費

財政状況に配慮し、適切な支出に努められたい。

##### 防 災

##### ①地域防災計画策定

災害弱者を考慮し、地域特性と女性の視点が反映されるよう図られたい。

##### ②防災士

養成と活用については、地域と十分に協議し、適切な人材の発掘を図り、計画的に進められたい。

##### ③自主防災組織

自主防災組織の設置促進められたい。

進及び活性化を図り、災害弱者である要援護者

マップの作成と更新を指導するとともに常に現状の把握に努められたい。

##### 保 育

保育に関わる者の予防接種公費負担について検討されたい。

##### 省エネ型生活灯補助

今年度で完了するが未実施地区があるため、引き続き継続されたい。

##### 緊急雇用創出事業

引き続き採択となるよう努力されたい。

##### 商 工 振 興

後継者や新規開業者等が商店街を活性化されるよう各種制度を周知し推進されたい。

##### 観 光 振 興

①富良野・美瑛広域観光圏の中で、埋もれないよう努力されたい。  
②町の特産品の販売情報発信の拠点となる整備を進められたい。

##### 子 育 て 支 援

ファミリーサポートセンターについては、委託先と十分連携をとりながら進められたい。

##### 町 道

維持管理については、

サービスの向上に努めるよう委託先と十分に調整し、管理指導の徹底を図られたい。

##### 上富良野小学校の改築

地域経済の活性化につながるよう、配慮されたい。

##### 給食のアレルギー対策

児童・生徒、保護者、学校、給食センターが十分連携し、事故のないよう、危機管理に努められたい。

### 【国保会計】

①特定健診の受診率及び保健指導の指導率が高いが、医療費抑制のため、さらに保健指導に努められたい。  
②若年層などの受診率向上に努められたい。

### 【病院事業会計】

大変な努力をされているが、引き続き、医師・看護師の確保に努められたい。

### 反 対 (米沢議員)

観光産業の発展につながる予算や学校改築などの予算が組まれ、部分的な前進面が見受けられる。しかし、演習場周辺整備補助で住民の福祉などにつながるという理由で今年も予算化された。本当に住民の福祉向上に寄与するか疑問を抱かずにはられない。子どもや保育所に対する保護者負担など、小さな負担まで求めるやり方や必要な物まで削減することは納得できない。将来行われようとしているラベンダーハイツの民間移譲計画は行政改革が根本的にあり、この方針こそ撤回すべきである。部分的な前進面があったとしても絶対認められるものではない。以上の立場から反対する。

### 賛 成 (今村議員)

町税収入は国家公務員給与の特例措置の影響などにより増加した。

しかし、主要な一般財源の地方交付税は昨年度予算より増額となるものの、決算見込比によると実質的には減額となっている。地域経済の活性化や人材育成につながるよう昨年とほぼ同額の予算編成となっている。

限られた財源の中で、基金からの繰り入れなど健全財政の確立に向けた課題もあるものの、必要性や緊急性を見極めた本予算は、「第5次総合計画」に掲げられている「5つの暮らし」の実現や、「自治基本条例」の精神である「町民との協働の視点にたった」展望あるまちづくりに向けた予算であり、不断に取り組むことを期待し賛成する。



中村 有秀 議員

## 福祉灯油の速やかな実施を

### 恒久的な生活支援策を講じたい

**中村議員**

今冬は灯油の

高騰が続き、低所得世帯

は大きな打撃を受け、上

川管内23市町村のうち20

市町村が「福祉灯油」

として灯油購入費の

助成を実施している。

当町としても速やか

に実施をすべきでは。

**向山町長**

福祉灯油

事業は否定するもの

でもなく、その意義

は評価するものでは

ある。しかし、国の財

政・経済の取り組み

と、諸物価の値上げ

もあり、今後の見極めが大変難しい状況にある。

今回は福祉灯油事業の

実施を見合わせ、高齢者・

障がい者・ひとり親世帯の方を含め、すそ野の広い恒久的な生活支援を講じる必要性を強く感じ、その制度化の仕組みづくりをまとめ、事業実施に向け取り組みを進めたい。

**中村議員**

道から「地域

づくり総合交付金」の活

用の福祉灯油事業実施有

無の照会文書は、24年10

月22日付で、実施しない

回答は11月5日。次に25

年1月17日付で実施しない

回答は1月21日である。

これらの回答はどのような

な会議で決定されたのか

伺う。また、町長が答弁

## 福祉灯油「20市町村に

管内 4年ぶり総額5500万円規模

### 価格高止まりで拡大

灯油価格の高騰が続く中、高齢者世帯等に灯油購入費を助成する「福祉灯油」を実施する自治体が上川管内で広まっている。上川総合振興局のまとめでは管内20市町村予定を含むが、実施し、事業総額は約5500万円に達する見通し。世界的な価格高騰となつた2008年度以来、4年ぶりの規模になりそう。

（鈴木雄二）

自治体では福祉灯油の実施を検討。当初は7市町村が準備を進めていたが、道が実施自治体への補助金の追加申請に応じないことあり、最終的に20市町村に拡大した。

同振興局によると、道の補助は自治体人口規模に応じ50万・100万円を配分。管内では総額4400万円と

同振興局によると、町村。北海道経済産業局に1月21日100万円を確保し、道に申請。道は灯油価格の高止まりで、高止まり傾向

2013年（平成25年）2月21日

された「恒久的な対策」はいづ決定されたのか。

**岡崎健康づくり担当課長**

支援策を組み立てる意

志決定は、福祉対策班と

高齢者支援班などを含め

て内部協議を行い、都度

の支援策も検討したが、

恒久的な支援策を講じる

べきと1月31日に決定し

た。

**中村議員**

上川総合振興

局に「冬の生活支援事業

を実施しない」との決定

は福祉担当の内部だけで

判断したのか。

**田浦副町長**

担当課長・

主幹とも確認をしたが、

内部協議形式などを用い

た協議はしていない。

**中村議員**

町長は「隅々

まで光の当たる町づく

り」を基本理念に「決し

て弱者をつくらず、誰も

が安心して暮らしている

まちづくり」と公約や行

政執行方針に記されてい

る。先に福祉灯油事業を

実施し、恒久的な対策は

次に行うべきではないか。

**向山町長**

この冬の灯油

も考慮する要因の一つと

しては否定しない。しか

し、これから心配される

生活支援を脅かす要因が

## 町道維持や除雪への

### 苦情とその対策は

### 様々な改善点を

### 今後にいかしたい

**中村議員**

町道の維持、

除雪が平成24年度より民

間に全面委託された。経

費節減がサービス低下に

なつてはならない。

今冬の除雪への町民か

らの苦情への対策は。

**向山町長**

今年から全面

委託し、実態として様々

な問題と課題が発生して

いる。町民の皆様にはご

迷惑、ご不便をかけてい

る。

行政効果やサービスの

向上を目的として委託に

移行した。町民から寄せ

られた様々な改善点を今

後にいかし、本来の事業

目的が果たされるよう取

り組んでいく。

### その他の質問

**Q** 町政運営改善プランのラベンダーハイ

ツ民間移譲は。

**A** 検討対象事業として位置づけ、研究を進める。

**Q** 小規模多機能型居

宅介護事業所の推進

状況は。

**A** 社会福祉協議会が

事業所開設準備を進

めているので、支援

も考えている。



村上 和子 議員

## 空き家対策の取り組みと

## 空き家の実態把握は必要

### 条例制定の考えはない

**村上議員** 町内には何件

かの空き家があり、なんら管理されずに長期間放置されている。除雪の問題や夏には雑草などが生い茂るなど、近隣住民にも迷惑がかかっている。町ではこれらを把握しているのか。また、調査が必要ではないか。空き家の持ち主に対し、自分で維持管理する条例などを制定してはどうか。

**向山町長**

長期間放置されている空き家の実態は



い。あくまでも所有者の自己責任で維持管理をするものであり、条例を制定する予定はない。

**村上議員**

空き家の持ち主に對して町で利用しても良いなどの登録制度を

## 障がい者支援施設建設予定の

### 具体的な内容は

## 北の峰学園のサテライト施設

**村上議員**

緑町町営住宅

の跡地に社会福祉法人富良野あさひ郷が障がい者施設の建設を予定している。何名ぐらいの利用となるのか。町で助成している通所のための交通費はどうなるのか。また、子どもセンター内にある「つばさ会」の作業所はどうなるのか。町の障がい者の方達を置き去りにしないよう、しっかりと連携を。

**向山町長**

町に在住している10名の利用が見込まれ、将来は30名の利用を目指している。送迎は事

設けてはどうか。

**向山町長**

民間で活用し、定住移住につながるよう

「空き家、空き地情報バンク登録制度」を設けている。皆様に活用してもらえよう努力する。

### おしえて!!

『サテライト施設』ってなあに?  
本体施設と密接な連携を確保しつつ、本体施設とは別の場所  
で運営される施設のこと。

業実施法人で行うので交通費はその時点で終了する予定。つばさ会の作業所は通所作業への移行や作業スペースの確保などが検討されている。今後利用される障がい者の方達にしっかりと情報が届くよう、十分配慮し窓口としての役割を果たしたい。

**村上議員** 施設の建設にあたっては地元業者を

使っていたきたい。雇用と地域の経済活性化にもつながるのでは。

**向山町長**

町の公共事業と違い、民間の事業者が

## いじめを可視化して

### 実効性のある対策を

## 未然防止や早期発見、道徳教育を中心

**村上議員**

全国的に社会

を揺るがすいじめ問題が大きく取り上げられている。町内の子どもたちにはあまりそういったことは聞かれていない。しかし、いじめがあった場合に実効性のある対応マニュアルや教員研修啓発の現状はどのように取り組まれているのか。

**服部教育長**

3回のアンケート調査からいじめの実態を把握し、町内でいじめの事案はない。初期対応マニュアルに沿った対応と上川教育局や各機関との連携を図り、教員

### その他の質問

Q 低所得者に灯油(福祉灯油)の支援策を

A 高齢者、障がい者、ひとり親など多少広角的に生活支援制度を構築したい。灯油支援は行わない。



今村 辰義 議員

## 協働のまちづくりの 具体的な推進を なじまないものもあるが 検討する

**今村議員** 協働のまちづくり基本方針が23年1月に示された。これに基づいて住民会が各地域にある公園や広場などの維持管理を担い、住民会の自主防災組織で防災士を育成するなど、町民との協働のまちづくりが進められている。

そこで昨



協働のまちづくり基本方針

年、町内の印刷会社が営業をやめてから各団体はたくさん印刷をする場合、大変苦労をしている。各団体の活動を推進するために、会議の内容や議

案、情報を伝達するためのチラシなどを印刷する印刷機を公共施設内に設置すべきではないか。

**向山町長** 昨年廃業した町内の印刷会社の他にもそれらのサービスを提供している事業者は複数あり、社会教育関係団体や自治会関係団体などからの意向を伺いながら実態を把握し、どのような支援策が必要か検討したい。

**今村議員** 町内には住民会や町内会のほかにも、多くのボランティア団体などが協働のまちづくりを進めている。しかし、ほとんどの団体の役員が高齢化していて、団体の役員を役場職員が担っている団体もある。これらの役場職員を評価する制度（職員評価制度）は設けているのか。また、勤務に支障をきたさない範囲内でこれらの団体の仕事ができるような支援策（ボランティア休暇または職務専念義務免除な

ど）を設ける必要あるのではないか。

**向山町長** 町職員も含めて町民の皆様が地域の中で様々な活動を通じて、地域づくりに参画することとは、協働のまちづくりの基盤をなすものと考えており、町職員には様々な活動に積極的参加するよう声をかけている。ただ、個々人の地域活動への参加の有無や濃淡などについて職務評価に直接結びつける考えはない。あわせて、職務専念義務免除の適用対象とするこ

### おしえて!!

『職務専念義務免除』ってなあに？

職員には地方公務員法により、職務に専念する義務が課されています。しかし「法律又は条例に特別の定がある場合」として研修を受ける場合等は職務専念義務が免除されます。

とはなじまないと考えている。なお、ボランティア休暇は阪神淡路大震災

## 低所得者世帯などへ 福祉灯油の実施を 恒久的な支援制度を 構築するよう検討する

**今村議員** 今冬の灯油高騰を受けて、当初、管内の自治体では7市町村が福祉灯油の実施を検討し、準備を進めていた。しかし、道が実施団体への補助金の追加申請に応じたため、旭川市と鷹栖町、上富良野町の3市町を除く20市町村が福祉灯油を実施した。

この現実を踏まえると、なぜ町は福祉灯油を実施しないのか

今後、再検討はあるのか。

**向山町長** 燃料の価格高騰は十分認識している。今後は灯油価格

を契機に年間5日間の範囲内で特別休暇として既に制度化している。

の高騰による福祉灯油事業としての支援策を講じるのではなく、少し広い角度から生活支援を必要とする世帯等に対して、恒久的な支援制度を構築するよう検討する。今冬は実施の予定はない。



高止まりしている灯油



岡本 康裕 議員

## 役場・消防庁舎の

## 耐震は大丈夫なのか

## 耐震基準を下回り

## 基準を満たしていない

岡本議員

役場庁舎及び

果は。

消防庁舎の耐震診断の結果

向山町長

役場庁舎はIs

## おしえて!!

『Is値』ってなあに?

構造耐震指標のこと。地震に対する建物の強度や粘り強さを算出します。震度6〜7程度の規模の地震に対する評価は、

- ・数値が0.6以上→倒壊、又は崩壊する危険性が低い
- ・数値が0.3以上 0.6未満→倒壊、又は崩壊する危険性がある
- ・数値が0.3未満→倒壊、又は崩壊する危険性が高い

値が0.097、消防庁舎は0.29で、

両方とも基準の0.81以上を満たしていない。

岡本議員

基準を満たしていない庁舎等を補強して使用する考えはあるのか。

向山町長

補強するとなると、庁舎内に耐震壁を小刻みに入れなければならない。またブレースを東西に1個ずつ南北の間に2個ずつ入れなければならない。現実的ではない。

※ブレース

筋交い（すじかい）とも呼ばれる柱と柱の間に交差するように入れられ、建築物などの構造を補強するもの。

岡本議員

補強が現実的ではないとなると、改築を検討しているのか。

向山町長

非常に悩ましい問題である。安心・安全を保たなければならぬが、一方で行政職員が働く場を整備していいのかという論議になる。他に優先すべきものがあるのではないかという議論

になる。

岡本議員 万が一、庁舎

が被災したら、何をやっていったんだということにもなるが。

向山町長 内部での検討

をして町民の方々に提案するときは財源をも含めた方針をもって話を進めるのが首長の努めと考え



ている。

岡本議員 庁舎改築のプ

ライオリティ（優先順位）は高いか。

向山町長

優先順位は高いと考えている。

岡本議員

消防庁舎の優先順位は。

向山町長

通常でも出役が多い部署なので、役場庁舎よりもむしろ優先順位は高いと考えている。

岡本議員

上富良野町には自治基本条例があるので、町民の方々と情報を共有してはどうか。

向山町長

ホームページもあるが、住民会長会議等の折に情報を公開して、議論のきっかけをつくっていきたい。

岡本議員

平成25年度に防災計画の見直しを予定しているようだが、役場庁舎・消防庁舎の改築を盛り込むか。

向山町長

建築物等のハードの整備に関しての記述は行わない。



中澤 良隆 議員

## 「健康かみふらの21計画」での 学童健診は小5・中2全員を 全員を対象とした健康診査の 必要性を検討したい

**中澤議員** 小学校5年生  
と中学校2年生の全員を



保健師による保健指導のようす

対象に学童健康診査（生活習慣病予防健診と保健指導）を実施すべきでは。向山町長 子どものころからの生活習慣病対策は非常に重要性を増している。昨年、町がモデル健診で実施した小学校5年生と中学校2年生32人の血液検査では、38%の子ども達に脂質異常や高血糖、糖尿などが見受けられた。これらは、脂肪や糖分

の過剰摂取と野菜不足、運動不足が背景にあり、次代を担う子ども達の健康指導は非常に重要だと考えている。当面はサンプル調査を重ねながら、小学校5年生と中学校2年生の全員を対象とした健康調査の必要性を検討したい。

## 一日350gの野菜摂取の状況は 一日の平均270g以下

**中澤議員**

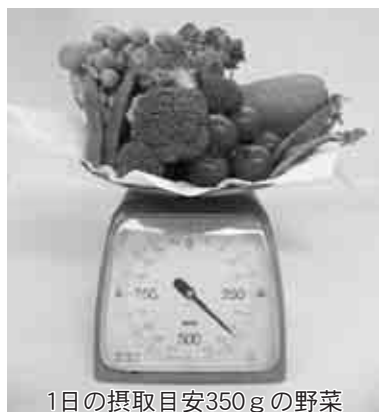
生活習慣病を

予防するためにはバランスの良い食生活と、1日350g以上の野菜摂取が重要と聞いている。上富良野町の野菜摂取の状況と取り組みは。

**向山町長**

野菜

は傷んだ細胞を修復するときに必要なビタミンと糖、食物繊維を多く含んでいる。がんや糖尿病、脂質異常症等の予防のため



1日の摂取目安350gの野菜

おしえて!!  
『健康かみふらの21計画』ってなあに?  
町民の健康増進を図るため必要な方策を示した10年計画です。健康寿命の延伸と、生活習慣病の予防に重点を置いた健康づくりの指針となるものです。

## 農業後継者に交流の場を 新規事業として 「人材アカデミー事業」を実施

**中澤議員**

上富良野町農

業の将来を考えると、若い後継者をいかに確保し、いかに育てていくかが課題解決の一步だと考えている。農業後継者のために、町が研修や交流、情報交換の場をつくることが必要ではないか。

**向山町長**

後継者の課題

は、農業のみならず町の産業全体に共有する大きな課題であり、後継者や担い手に対する支援制度の継続を進めるとともに、平成25年度から3年計画で中核的な役割を担うリーダー育成を目的に「人材育成アカデミー事業」を実施する。

また、若い人たちが職



通じて1日350gの野菜を摂取する必要性を根強く理解をしてもらえるよう努力する。



米沢 義英 議員

## 今後もTPP交渉参加に

### 反対の意思表示を

### 断固として反対である

**米沢議員**

安倍内閣がTPP交渉への参加を表明した。それに対し、町長はどのように考え、今後

も反対されるのか。

**向山町長**

聖域なき関税撤廃が前提でないとして、どの品目が関税撤廃

の要望も出されているが、今後の対応は。

撤廃が前提でないとして、どの品目が関税撤廃

## TPP参加表明に反対

### 「オール北海道」札幌で集会



「TPP交渉に参加するな」「国民の食と命を守れ」と緊急市民集会に集まった市民ら＝11日、札幌市中央区

の対象から除外されるのか。具体的な情報もなく、いまだに国民的議論を行う状況になっていないことから、極めて遺憾に思う。とりわけ、農業が基幹産業である北海道、さらに上富良野町はTPP交渉への参加は断固として反対である。



## 東中中学校の

### 閉校後の活用について

### 宿泊施設等に

### 活用できないか検討したい

**米沢議員**

東中中学校閉校後の活用は、東中住民会からも農業実習生受入れ施設としての活用などの要望も出されているが、今後の対応は。

た中で地元や関係機関を含め協議を進めたい。

東中中学校閉校後の跡地利用は東中住民会から「農業の人材確保のための宿泊施設に活用できないか検討をお願いしたい」とのご意見をいただいている。今後は内部の関係部署で検討を図り、方向性を見出し

今後の対応は。

**服部教育長**

東中中学校

東中中学校



## グループホームの新設を

### 早期整備に向け進めたい

**米沢議員**

認知高齢者が

増える傾向にあり、町には現在グループホームは9床しか認められていない。新設の計画が必要では。

**向山町長**

認知高齢者の

介護予防事業に取り組み、後期高齢者の75歳を契機に脳の老化が進み、その割合が加齢とともに増加する傾向にあるため、その必要性を認識

している。第5期介護保険事業計画が最終年の平成26年度までに整備されるよう民間業者に対し、町の計画についての情報提供を行うとともに、公募の検討も行い、早期整備に向けて取り進めたい。

### おしえて!!

#### 『認知症共同生活事業所（グループホーム）』ってなあに？

認知症の方が、少人数で共同生活を行い、家庭的な雰囲気の中で自分の持つ力を生かしながら、入浴や排泄・食事等の日常生活上の介助、機能訓練などのサービスを提供する施設のこと。

# 委員会のつづき 『先進市町村行政調査』

## 総務産建常任委員会

平成24年11月6日から10日までの間、長崎県島原市、熊本県上天草市、宮崎県高原町を視察し行政調査を行いました。

### 『防災対策』

#### ■長崎県島原市

島原市は平成2年から7年まで続いた雲仙・普賢岳の噴火による災害を教訓に、災害に対する計画や復興を目的とした「がまだす計画」を策定していまし

※がまだす：方言で「頑張る」という意味。



雲仙・普賢岳

#### ○自主防災組織

災害発生前は5組織しかなかった自主防災組織が、組織設立助成の基金を設け、意識の高揚や資材の整備などを助成し、支援をした結果、全ての町内会に自主防災組織が結成されました。

#### ○災害ボランティアと福祉避難施設

大規模な災害が発生した場合の災害ボランティアセンターの設置や運営の手順、平常時の取り組みマニュアルが作成されました。

福祉避難施設は4ヶ所を指定していました。

しかし、十分かどうか、備蓄品の確保の再検討が必要だと話していました。

### ま と め

大規模災害が発生した時には、行政等の被災者支援対策と合わせて、ボランティアによる被災者のニーズに迅速に対応した救援活動が重要であると改めて感じました。

特に、多くの災害ボランティアが駆け付け、災害救援活動を行うことが予想されるため、被災者のニーズとボランティアの力を効果的に結びつけることが必要であり、被災者救援と早急な復興のためには、近隣の県・市町の社会福祉協議会と相互に応援協力し、職員の派遣などを行う協定や関係機関との連携体制づくりが必要と考えられ、

災害時「災害ボランティアセンター」の設

立が肝要です。また、自主防災組織においても、互助による防災活動を行い、お互いの生命や財産を守り、そして、災害時に要援護者となる高齢者、身体障がい者など、介助の必要な方を救助できるのは地域の方であるため、上富良野町においても、早期に自主防災組織の整備と、全町内において地域防災・高齢者マップの策定をすることが喫緊の課題だと思



#### ■宮崎県高原町

#### ○災害対策本部の対応

高原町は栗野岳や韓国岳、新燃岳など火山が集中しているため、火山防災対策がとられていました。平成23年に新燃岳が噴火した際には噴火して約40分後に災害対策本部が設置されました。

## ○議員の災害時の行動

新燃岳の災害時、議員が個々に住民会などに協力するのではなく、町の議員であるとの自覚をもとに役場に集合し、特別委員会を立ち上げ、サブ対策本部のような役割を担います。



## ○他市町村などからの支援

健康相談などへの対応支援のために県内の医師会や看護協会などから延べ88人の支援があり、多くの健康相談を行っていました。ボランティアアセンタールと同じく、日頃から他市町村などと調整・協定が必要であり、インフルエンザなどの感染症への対策が必要であると話していました。

## ま と め

高原町の新燃岳が噴火した後の対応は、迅速に災害対策本部を設置し、地域住民へのハザードマップを配布していた。

日頃からの危機管理への意識高揚策や、自主防災組織への月2回の情報の提供や防災研修、ボランティアセンターの運営等に取り組んでおり、これらは大いに参考とすべきだと思いました。

また、我が町の社会福祉協議会が独自での「災害ボランティアセンター」へ対応することは、職員の人数からも脆弱だと思われる。

災害ボランティアセンターの設立、運営や貸付窓口業務などへ対応するためにも、他市町村の社会福祉協議会との災害時に助け合う「協定」を速やかに結び、職員の確保や情報共有などで連携することが必要であると感じました。

## 『観光振興』

### ■熊本県上天草市

#### ○「観光マスタープラン」計画策定

人口減少や少子高齢化など時代を取り巻く環境が大きく変化し続けていることに加え、市民1人当たりの所得が熊本県の平均を下回り、市民がゆとりある生活を実感できる状況にないため、基軸となる観光計画作りを推進していました。地域に存在する多様な観光資源をいかし、着地型観光を推進していました。

## ま と め

上天草市は、周りを海や山々に囲まれ、自然が豊かで、歴史や文化に恵まれた地域です。

観光と6次産業化は市長のマニフェストにうたわれており、現在において計画ができていて推進しているところです。

今回、説明を受けた「観光マスタープラン」は、非常に具体的な計画になっているのが印象に残りました。

コンセプトにおいても、抽象的な部分は少なく、はっきりと打ち出していました。また、ターゲットは、マーケットが成熟

していて経済的にも余裕のある大人の女性とばかり打ち出した計画になっていて、総花的ではなくエッジがたっている印象がありました。



今回は北海道に本拠地を置いてい  
るプロ野球チームの「日本ハムファイターズ」を応援している【日本ハムファイターズ かみふらの後援会】に焦点をあて、会長である小田島久尚さんに活動内容や抱負をお聞きしました。



インタビューは・・・

岡本委員です！



## インタビュー

### ◆どのような活動を◆

**岡本委員** 創設はいつですか？

**小田島会長** 平成19年に結成されて丸6年がたちました。

**岡本委員** 現在、会員は何名ですか？

**小田島会長** 82名の会員が所属しています。

**岡本委員** 会員の構成は？

**小田島会長** 自営業の方や、自衛官、公務員など多岐に渡っています。

**岡本委員** どのような活動をしていますか？

**小田島会長** 活動内容は主に札幌ドームでの試合にバスで駆けつけ、ファイターズを応援しています。

**岡本委員** 他にはありますか？

**小田島会長** もう一つの事業として、日本ハムファイターズ元選手を招いての少年を対象にした野球教室の開催があります。

**岡本委員** 活動に関しての悩みはありますか？

**小田島会長** 広報活動があまりできていないので、会員さんの数が伸び悩んでいる点です。会員は随時募集していますので、興味のあ



る方は、ぜひ「日本ハムファイターズ かみふらの後援会」会長 小田島久尚（大町1丁目 電話4512818、もしくは0901908018334）まで連絡ください。

### ◆議会・行政にひとこと◆

**岡本委員** 議会を傍聴したことはありますか？

**小田島会長** 残念ながらありません。感心はあるのですが、仕事があるので時間がなかなかつくれないのが現状です。

**岡本委員** 議会だよりはご覧になっていますか？

**小田島会長** 毎回欠かさず読んでいます。

**岡本委員** 議会だよりをご覧になった感想は？

**小田島会長** 議場でのやり取りが良くわかります。残念なのは、各議員さんの個人的な活動がもっと分かれば議員さんに対する考え方や興味が湧くと思います。もう一工夫してもらって、より良い議会だよりを期待しています。



# 議会の うづき

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 2月15日 | 議会運営委員会                      |
| 25日   | 厚生文教常任委員会                    |
| 26日   | 総務産建常任委員会                    |
| 27日   | 議会運営委員会                      |
| 28日   | 全員協議会                        |
| 3月5日  | 議会広報特別委員会<br>第1回定例会（1日目）     |
| 6日    | 第1回定例会（2日目）<br>議会運営委員会       |
| 13日   | 第1回定例会（3日目）<br>総務産建常任委員会     |
| 15日   | 予算特別委員会（1日目）<br>厚生文教常任委員会協議会 |
| 18日   | 予算特別委員会（2日目）                 |
| 19日   | 予算特別委員会（3日目）                 |
| 21日   | 予算特別委員会（4日目）<br>議会運営委員会      |
| 22日   | 議会広報特別委員会<br>第1回定例会（4日目）     |
| 27日   | 厚生文教常任委員会                    |
| 29日   | 総務産建常任委員会                    |
| 4月8日  | 全員協議会<br>第2回臨時会              |
| 15日   | 議会広報特別委員会<br>議会広報特別委員会       |

## ☆ 特集 ☆

### 『議会を傍聴してみませんか？』

町議会では年4回、3月・6月・9月・12月に定例会を開会し、必要に応じて臨時会を開会しています。

議会の傍聴は議会活動に触れる最も身近な方法です。住民生活にかかわる様々な案件を真剣に審議しています。定例会では、議案のほかにも議員が行政に質問をする「一般質問」も行われます。

当日は受付名簿に氏名・年齢・住所を記入し、規則を守り、静かに傍聴をお願いいたします。



次の定例会は6月です。

6月18日・19日に予定をしていますので、  
たくさんの方の傍聴をお待ちしています。

※予定は変更になる場合がありますので、ご確認の  
うえ、役場3階の議事堂までお越しください。

#### ■お詫びと訂正

第77号（平成25年2月10日発行）4頁の緊急通報システム端末装置についての記事に誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。

財産取得台数（誤）260台↓（正）210台

## やまびこ

■年末の総選挙により3年3ヶ月ぶりに政権が交代しました。各国それぞれ大きな課題を抱えながらも、リーダーの交代や任期更新を経て、新たな政策展開を始めています。

■議会改革も地方自治法の一部を改正する法律が可決され、住民自治の更なる充実を図るために会期及び招集、議会と町の関係、直接請求などについて必要な改正が行われました。

■桜前線も北上中ですが、北海道は例年に無く大雪で農作業も遅れがちではないでしょうか。春が待ち遠しいですね。

この時期は入学・進学・就職など、それぞれ踏み出されますが、転んでも良いんだよ。何度でも起き上がれば・・・私たちも地域が将来に向け明るい展望を開いていくために、ひたむきに努めていきます。

（村上 記）

#### 議会広報特別委員会

|       |       |
|-------|-------|
| 委員長   | 米沢 義英 |
| 副委員長  | 村上 和子 |
| 委員    | 徳武 良弘 |
| 岩崎 治男 |       |
| 中澤 良隆 |       |
| 岡本 康裕 |       |



議会の様子を見にきてください！